

教科		国語	科目	国語総合（古典）	学年	1	単位数	3	
類型		共通			履修規程	必修			
学習の到達目標					使用する主な教材				
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					国語総合（古典編）・数研出版				
期	月	配当時間	学習内容	学習の具体的内容とねらい					
第一 学期	4	7	説話、宇治拾遺物語「児のそら寝」他 沙石集「孝孫」 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語のきまりを理解する。 ・語句の意味を理解、語彙を豊かにし、言語文化の伝統と特質を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開をとらえ、話の面白さについて考える。</li> <li>・古語辞典を使って古語の意味を確認しながら読む。</li> <li>・歴史的仮名遣いに注意して音読する。</li> <li>・古文の重要語の意味を調べる。</li> <li>・文章が語り継がれてきた理由を考える。</li> <li>・用言や接続助詞「ば」について理解する。</li> <li>・同じ構成の文章を調べる。</li> </ul>					
			入門、漢文チェックポイント ・文章の形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・訓読のきまりについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い例文を繰り返し音読し、漢文の口調に慣れる。</li> <li>・漢文と現代日本語の文構造の違いに意識を向ける。</li> <li>・訓点を用いた訓読方法を学び、書き下し文を書けるようにする。</li> <li>・再読文字、置き字の意味や用法について理解する。</li> </ul>					
	5	1	中間考査						
	6	14	随想、徒然草「つれづれなるままに」他 歌物語、伊勢物語「芥川」「筒井筒」他 ・文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。 ・文語のきまりを理解する。 ・文章の内容に応じた表現の特色に注意して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の考え、理想を理解する。</li> <li>・文体に注意して読み、用言について理解する</li> <li>・過去、完了、推量の助動詞について理解する。</li> <li>・「なり」の内容と係り結びについて理解する。</li> <li>・歌のやりとりなど、登場人物の言動からその心理をとらえる。</li> <li>・物語の構成を考え、歌に凝縮された主人公の心情を理解する。</li> <li>・接続助詞、格助詞など、文法知識を用いて読解する。</li> </ul>					
			故事「漁父之利」「矛盾」他 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・訓読のきまりについて理解し、国語における言葉の成立を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い文章を読み、面白さを味わい、本文の歴史的背景や、寓話に託された論者の意図を理解させる。</li> <li>・否定の「不」について理解する。</li> <li>・原典に触れ、成語「漁夫の利」の意味を再確認する。</li> <li>・助詞、助動詞として読む語は平仮名で書き下すきまりを再確認し、置き字、再読文字の規則も再確認する。</li> </ul>					
	7	7	物語「竹取物語」 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語のきまりを理解する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係、主人公の人物設定を理解する。</li> <li>・助動詞について理解する。</li> <li>・場面設定を読み取り、登場人物の心情を理解する。</li> <li>・敬語について理解する。</li> </ul>				
	8								
	9	9	史伝「管鮑之交」「鶏口牛後」他 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史伝に登場する人々の人物像を読み取り、文章を読み味わう。</li> <li>・春秋時代の時代背景についておおまかに理解する。</li> <li>・中国の伝統的な名づけの習慣について理解する。</li> <li>・原典に触れ、成語「管鮑の交わり」の意味を再確認する。</li> <li>・文中の接続に用いる語の用法について学習する。</li> <li>・言葉の成立と訓読のきまりについて理解する。</li> </ul>					
			10	1	中間考査				
	11	13	随筆、枕草子「春はあけぼの」他 ・文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の美的価値観を理解する。</li> <li>・古文における読みの多様性について理解する。</li> <li>・登場人物の関係に注意して、情景を読み取る。</li> <li>・登場人物の関係に注意して、この話の面白さを考える。</li> <li>・敬語について理解する。</li> </ul>					
			唐詩、絶句、律詩 ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で古くから親しまれてきた代表的な漢詩を読み味わう。</li> <li>・用いられている修辞を踏まえながら、描かれた光景や作者の心情を読み取る。</li> </ul>					

		<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な和漢異義語について、日本と中国での意味の違いを理解する。</li> <li>漢詩のリズムを意識して訓読する。</li> </ul>
	1	期末考査	
12	8	「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 日記文「土佐日記」 ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>長歌や短歌の形式を理解し、古代の歌の世界を味わう。</li> <li>掛詞について理解し、王朝時代の歌の世界を味わう。</li> <li>体言止めや本歌取りについて理解し、中世の歌の世界を味わう</li> <li>日記の書き手に注目し、表現や文体の特色について理解する。</li> <li>「なり」「ぬ」「こそ」を正しく読み取る。</li> </ul>
1	8	軍記物語「平家物語」・論語 ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対句表現を用いたリズムある和漢混淆文を味わう。</li> <li>登場人物の言動に着目し、葛藤する人物の内面を理解する。</li> <li>音便、敬語について理解する。</li> <li>孔子が理想とした生き方、人との交わり方を、本文から読み取る。</li> <li>「論語」に基づく日本語の年齢表現について学習する。</li> </ul>
2	6	俳諧紀行「おくの細道」・孟子 ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳諧紀行文の特徴を理解し、作者の旅と創作に対する思いを考える。</li> <li>「孟子」に特徴的な修辞を用いたエピソードを読み味わう。</li> </ul>
		・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・国語における言葉の成り立ちを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>孟子が理想とした政治のあり方を、本文から読み取る。</li> <li>原典に触れることにより、日本語としての成語「五十歩百歩」の意味を再確認する。</li> </ul>
3	1	学年末考査	
	1	1年間のまとめ	
評価の方法		定期考査、授業中に実施する小テスト、提出物で総合的に評価する	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活のあらゆる場面で国語について意識する態度を確認させる。</li> </ul>	